

山形県感染症発生情報

第15週(平成22年4月12日～平成22年4月18日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	6	△	
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	6	▽	
咽頭結膜熱	3	▽	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	108	△	多発中
感染性胃腸炎	349	△	多発中
水痘	37	△	
手足口病	24	▼	
伝染性紅斑	30	▲	
突発性発しん	29	▲	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	0	▽	
流行性耳下腺炎	32	▽	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	0	▼	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	1	△	
マイコプラズマ肺炎	1	△	
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第15週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	4	3	3	45
コレラ	0	0	0	0
3類感染症				
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	9
バラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	1
アメーバ赤痢	0	0	0	2
ウイルス性肝炎	1	0	0	1
急性脳炎	0	1	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	1	0	1

- 1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は0.13人で沈静化している。迅速キットによる陽性例は、報告された6名全てA型であった。衛生研究所のウイルス分離結果によると、4月20日現在、型別は新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。
- 2 感染性胃腸炎は、ピーク時(第5週:546人)から約4割減少している。しかし、前週に比べ、最上地区を中心に増加しているため警戒が必要である。
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、庄内地区で定点当たり報告数が多い(鶴岡市:9.5人、山形市:5.2人)。
- 4 伝染性紅斑が、庄内地区で増加しており、定点当たり報告数(3.8人)が警報基準値(2.0人)を超えている。鶴岡市の定点当たり報告数が多い(鶴岡市:7.5人)。
- 5 結核の患者が村山地区から1名(北村山)、置賜地区から1名(東南置賜)、無症状病原体保有者が村山地区から2名(東南村山2)、計4名報告された。
- 6 腸管出血性大腸菌感染症の無症状病原体保有者が、村山地区から1名報告された(OVT1)。
- 7 ウイルス性肝炎の患者が、村山地区から1名報告された(B型肝炎)。平成19年から3年ぶりの報告となった。
- 8 第14週の報告分として、急性脳炎の患者が村山地区から1名追加報告された(病原体:単純ヘルペスウイルス)。

(4月20日現在 山形県衛生研究所)